



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 株式会社シグマクス・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 寛
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CF0 (氏名) 田端 信也 TEL 03 (6430) 3400
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月5日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）※オンライン開催

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	22,410	29.3	4,232	30.8	4,338	32.9	3,232	46.6
2023年3月期	17,334	10.7	3,235	17.2	3,265	18.1	2,204	32.4

(注) 包括利益 2024年3月期 3,141百万円 (24.8%) 2023年3月期 2,516百万円 (50.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	76.62	-	26.9	26.5	18.9
2023年3月期	52.32	-	20.8	22.4	18.7

(注) 2023年3月期及び2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	18,295	13,193	72.1	312.18
2023年3月期	14,461	10,878	75.2	261.53

(参考) 自己資本 2024年3月期 13,193百万円 2023年3月期 10,878百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,119	△1,035	△2,016	7,171
2023年3月期	2,085	△4	△2,696	7,093

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	16.00	16.00	711	30.6	6.3
2024年3月期	-	0.00	-	27.00	27.00	1,191	35.2	9.4
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	32.00	32.00		37.6	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	11.6	5,050	19.3	5,100	17.6	3,600	11.4	85.18

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	45,000,000株	2023年3月期	46,308,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期	2,736,636株	2023年3月期	4,713,594株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	42,185,652株	2023年3月期	42,129,396株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,226	△10.4	1,738	△32.2	1,823	△30.2	1,702	△9.0
2023年3月期	5,833	△39.4	2,565	26.6	2,612	24.5	1,870	48.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	40.37	-
2023年3月期	44.41	-

(注) 2023年3月期及び2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	12,791	10,813	84.5	255.87
2023年3月期	12,258	9,796	79.9	235.53

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,813百万円 2023年3月期 9,796百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

わが国の経済はこのところ足踏みもみられますが、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分な注意が必要です。

このような環境の中、当社グループは、コンサルティング事業と投資事業の連携のもと、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を行っています。コンサルティング事業は、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーションとして、生産性革命によって大幅な業績向上を実現する「デジタル・トランスフォーメーション」、新たな成長エンジンとなるビジネスモデルを成長市場で構築する「サービス・トランスフォーメーション」、経営プラットフォームを変革する「マネジメント・トランスフォーメーション」を掲げ、多様な能力を擁したプロフェッショナルが、企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創に取り組んでいます。投資事業は、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、リジェネラティブ&ウェルビーイング領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルティング事業との連携により投資先企業の成長および企業価値向上を支援しています。

当社グループの当連結会計年度の売上高は、22,410,611千円（前連結会計年度比29.3%増）となりました。

売上原価は、12,400,626千円（前連結会計年度比38.4%増）となりました。旺盛な需要に対応し、外注費が増加いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては人員増や対面活動の活発化に伴う諸経費と採用費の増加により、5,777,198千円（前連結会計年度比12.4%増）となりました。

売上高の増加により、売上総利益は1,635,719千円増の10,009,985千円（前連結会計年度比19.5%増）、営業利益は997,365千円増の4,232,786千円（前連結会計年度比30.8%増）、経常利益は1,073,183千円増の4,338,231千円（前連結会計年度比32.9%増）となりました。

税金等調整前当期純利益は4,338,094千円（前連結会計年度比32.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、3,232,107千円（前連結会計年度比46.6%増）となりました。親会社株主に係る包括利益は3,141,181千円（前連結会計年度比24.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業の当連結会計年度の業績は、売上高22,203,735千円（前連結会計年度比28.6%増）、セグメント利益6,109,964千円（前連結会計年度比21.4%増）となりました。産業別では運輸、金融、情報通信、商社、小売、製造業を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業を牽引しました。

人財採用につきましては、当連結会計年度において経験者73名、新卒61名が入社しました。新卒社員は10月から稼働を開始しております。2024年3月末時点のコンサルタント数は571名となっております。プロジェクト満足度は93ポイントと高い水準を維持しております。

(投資事業)

投資事業の当連結会計年度の業績は、売上高345,709千円（前連結会計年度比106.6%増）、第2四半期に保有する上場株式の減損処理を行った結果、セグメント損失117,301千円（前連結会計年度はセグメント損失130,778千円）となりました。

1月には病院経営支援や高齢者向けサービス事業を展開する株式会社ユカリアに新規投資を実施し、3月末時点の累計投資残高は評価差額を含め約37億円となりました。引き続き社会的な価値共創に資する投資を推進していきます。

3月にはシュッピン株式会社(東証プライム:証券コード 3179、以下シュッピン)と資本・業務提携契約を締結いたしました。株式会社シグマクス・インベストメントによる約5億円の出資、ならびに株式会社シグマクスからのコンサルティング人材の出向を含む業務支援により、シェルパとして、シュッピンの持続的成長の基盤強化と、テクノロジー・カンパニーへの変革の実現に向けて伴走します。

②今後の見通し

2025年3月期においては、各事業の連携によりクライアント企業の深耕を推進、価値共創のための構想提案を実施し、企業のトランスフォーメーション(『3つの変革』)の支援、複数企業間連携による新規事業立ち上げやビジネス機能の共有化支援、資本提携を伴うクライアント企業の成長支援、社会的な価値共創に資するベンチャー企業投資などを行ってまいります。

コンサルティング事業では、事業成長のために必要なコンサルタント能力(スキル×人数)の拡充を引き続き行います。2024年4月1日に経験者6名、新卒59名が入社いたしました。2025年4月の新卒入社については80名程度を目標として採用活動に取り組んでおります。

投資事業については、引き続きリジェネラティブ&ウェルビーイング領域、主にエネルギーやヘルスケア分野において新規投資を計画しています。

以上より、2025年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高25,000,000千円(前連結会計年度比11.6%増)、営業利益5,050,000千円(同19.3%増)、経常利益5,100,000千円(同17.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,600,000千円(同11.4%増)を予想しております。

旺盛な需要に対し、外注活用を増加して対応したことで連結売上高が想定を超えるペースで伸長しました。その結果、当社グループの中長期の成長イメージ「2026年3月期『ありたい姿』」の連結売上高250億円については1年前倒しで達成する見通しです。引き続き、2026年3月期の経常利益70億円に向けて、コンサルティング事業の成長を加速し、投資事業からの収益貢献を目指します。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は14,463,907千円(前連結会計年度比2,450,158千円増)となりました。主な内訳は、現金及び預金7,171,106千円、営業投資有価証券3,735,127千円であります。また、固定資産は3,831,718千円(前連結会計年度比1,383,834千円増)となりました。主な内訳は、投資有価証券1,831,097千円、ソフトウェア329,793千円であります。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は3,913,332千円(前連結会計年度比1,935,001千円増)となりました。主な内訳は、未払金1,785,334千円、未払法人税等1,012,554千円であります。また、固定負債は1,188,676千円(前連結会計年度比416,337千円減)となりました。主な内訳は、役員株式給付引当金595,224千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は13,193,616千円(前連結会計年度比2,315,328千円増)となりました。主な内訳は、資本剰余金3,151,600千円、利益剰余金9,283,020千円、自己株式2,470,670千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、7,171,106千円(前連結会計年度比77,215千円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は3,119,274千円(前連結会計年度は2,085,443千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益4,338,094千円、営業投資有価証券の増減額1,880,465千円、未払金の増減額803,012千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は1,035,397千円(前連結会計年度は4,684千円の使用)となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出1,207,088千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は2,016,104千円(前連結会計年度は2,696,554千円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出1,301,267千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	70.3	75.2	72.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	369.2	365.2	337.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.6	0.5	1.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,820.1	12,473.5	19,337.7

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮した上で適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,093,890	7,171,106
受取手形、売掛金及び契約資産	2,263,554	2,795,564
営業投資有価証券	2,171,591	3,735,127
その他	600,834	762,108
貸倒引当金	△116,122	-
流動資産合計	12,013,748	14,463,907
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	168,474	200,129
その他（純額）	84,892	102,551
有形固定資産合計	253,366	302,680
無形固定資産		
ソフトウェア	400,943	329,793
ソフトウェア仮勘定	34,635	34,635
その他	7,105	5,969
無形固定資産合計	442,685	370,398
投資その他の資産		
投資有価証券	797,759	1,831,097
繰延税金資産	316,670	458,833
その他	637,403	868,708
投資その他の資産合計	1,751,832	3,158,639
固定資産合計	2,447,884	3,831,718
資産合計	14,461,633	18,295,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,169	542,195
未払金	842,657	1,785,334
未払法人税等	339,489	1,012,554
賞与引当金	-	57,168
株式給付引当金	326,059	274,337
その他	232,954	241,740
流動負債合計	1,978,330	3,913,332
固定負債		
リース債務	5,681	21,908
株式給付引当金	340,542	406,314
役員株式給付引当金	1,106,107	595,224
資産除去債務	86,444	101,031
その他	66,238	64,197
固定負債合計	1,605,014	1,188,676
負債合計	3,583,345	5,102,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	4,768,396	3,151,600
利益剰余金	6,762,154	9,283,020
自己株式	△3,972,854	△2,470,670
株主資本合計	10,557,696	12,963,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,592	229,666
その他の包括利益累計額合計	320,592	229,666
純資産合計	10,878,288	13,193,616
負債純資産合計	14,461,633	18,295,625

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	17,334,289	22,410,611
売上原価	8,960,023	12,400,626
売上総利益	8,374,265	10,009,985
販売費及び一般管理費	5,138,843	5,777,198
営業利益	3,235,421	4,232,786
営業外収益		
受取利息	7,595	3,024
投資有価証券売却益	-	23,539
講演料等収入	37,490	47,481
協賛金収入	10,335	21,977
雑収入	10,009	23,406
営業外収益合計	65,431	119,429
営業外費用		
支払利息	167	161
自己株式取得費用	5,399	2,805
控除対象外消費税等	14,764	3,379
投資有価証券運用損	3,631	7,584
雑損失	11,842	54
営業外費用合計	35,805	13,984
経常利益	3,265,047	4,338,231
特別損失		
固定資産売却損	-	81
固定資産除却損	-	56
関係会社整理損	2,003	-
特別損失合計	2,003	137
税金等調整前当期純利益	3,263,043	4,338,094
法人税、住民税及び事業税	1,168,291	1,240,542
法人税等調整額	△109,346	△134,554
法人税等合計	1,058,944	1,105,987
当期純利益	2,204,098	3,232,107
親会社株主に帰属する当期純利益	2,204,098	3,232,107

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,204,098	3,232,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	312,149	△90,925
その他の包括利益合計	312,149	△90,925
包括利益	2,516,248	3,141,181
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,516,248	3,141,181

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,626,881	3,147,012	5,149,207	△2,628,990	10,294,111
当期変動額					
減資	△1,626,881	1,626,881			-
剰余金の配当			△591,152		△591,152
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,204,098		2,204,098
自己株式の取得				△2,165,585	△2,165,585
自己株式の処分		△5,497		821,721	816,224
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△1,626,881	1,621,384	1,612,946	△1,343,864	263,584
当期末残高	3,000,000	4,768,396	6,762,154	△3,972,854	10,557,696

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	8,442	8,442	10,302,554
当期変動額			
減資			-
剰余金の配当			△591,152
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,204,098
自己株式の取得			△2,165,585
自己株式の処分			816,224
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	312,149	312,149	312,149
当期変動額合計	312,149	312,149	575,733
当期末残高	320,592	320,592	10,878,288

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000,000	4,768,396	6,762,154	△3,972,854	10,557,696
当期変動額					
剰余金の配当			△711,241		△711,241
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,232,107		3,232,107
自己株式の取得				△1,727,519	△1,727,519
自己株式の処分		25,978		1,586,928	1,612,907
自己株式の消却		△1,642,774		1,642,774	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△1,616,796	2,520,866	1,502,184	2,406,254
当期末残高	3,000,000	3,151,600	9,283,020	△2,470,670	12,963,950

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	320,592	320,592	10,878,288
当期変動額			
剰余金の配当			△711,241
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,232,107
自己株式の取得			△1,727,519
自己株式の処分			1,612,907
自己株式の消却			-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△90,925	△90,925	△90,925
当期変動額合計	△90,925	△90,925	2,315,329
当期末残高	229,666	229,666	13,193,616

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,263,043	4,338,094
減価償却費	217,610	203,440
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	101,602	△116,122
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	57,168
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	529,621	489,439
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	66,337	26,237
受取利息及び受取配当金	△7,595	△3,024
支払利息	167	161
為替差損益 (△は益)	11,842	△9,442
固定資産売却損益 (△は益)	—	81
固定資産除却損	—	56
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△23,539
投資有価証券運用損益 (△は益)	3,631	7,584
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	61,208	△1,880,465
売上債権の増減額 (△は増加)	△248,668	△532,009
前払費用の増減額 (△は増加)	336,046	180,515
仕入債務の増減額 (△は減少)	51,413	305,025
未払金の増減額 (△は減少)	△291,979	803,012
その他	△273,781	86,790
小計	3,820,501	3,933,003
利息及び配当金の受取額	7,814	3,024
利息の支払額	△167	△161
法人税等の支払額	△1,742,705	△821,618
法人税等の還付額	—	5,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,085,443	3,119,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,894	△34,596
無形固定資産の取得による支出	△64,132	△53,707
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△5,274	—
投資有価証券の取得による支出	△140,000	△1,207,088
投資有価証券の売却及び償還による収入	325,214	491,152
その他の支出	△60,420	△241,553
その他の収入	15,822	10,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,684	△1,035,397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5,118	△4,798
自己株式の取得による支出	△2,099,243	△1,301,267
配当金の支払額	△592,192	△710,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,696,554	△2,016,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,842	9,442
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△627,637	77,215
現金及び現金同等物の期首残高	7,721,528	7,093,890
現金及び現金同等物の期末残高	7,093,890	7,171,106

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日。)を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、コンサルティング事業と投資事業の連携のもと、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を行っています。コンサルティング事業は、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーションとして、生産性革命によって大幅な業績向上を実現する「デジタル・トランスフォーメーション」、新たな成長エンジンとなるビジネスモデルを成長市場で構築する「サービス・トランスフォーメーション」、経営プラットフォームを変革する「マネジメント・トランスフォーメーション」を掲げ、多様な能力を擁したプロフェッショナルが、企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創に取り組んでいます。投資事業は、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、リジェネラティブ&ウェルビーイング領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルティング事業との連携により投資先企業の成長および企業価値向上を支援しています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。報告セグメント間の取引価格及び振替価格は市場価格等を参考に決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(1) 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,187,167	147,122	17,334,289	—	17,334,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,120	20,246	92,366	△92,366	—
計	17,259,287	167,368	17,426,655	△92,366	17,334,289
セグメント利益又は損失 (△)	5,032,397	△130,778	4,901,618	△1,666,196	3,235,421
セグメント資産	3,806,041	2,564,518	6,370,559	8,091,073	14,461,633
その他の項目					
減価償却費	681	—	681	216,928	217,610

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等△1,670,856千円及びセグメント間取引消去4,659千円によるものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額には、全社(共通)資産及びセグメント間債権債務消去等が含まれていません。

(2) 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,123,777	286,834	22,410,611	—	22,410,611
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,957	58,875	138,832	△138,832	—
計	22,203,735	345,709	22,549,444	△138,832	22,410,611
セグメント利益又は損失 (△)	6,109,964	△117,301	5,992,662	△1,759,876	4,232,786
セグメント資産	6,831,594	4,026,663	10,858,258	7,437,367	18,295,625
その他の項目					
減価償却費	360	—	360	203,080	203,440

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等△1,776,441千円及びセグメント間取引消去16,565千円によるものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額には、全社(共通)資産及びセグメント間債権債務消去等が含まれていません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦における有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦における有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	261.53円	312.18円
1株当たり当期純利益金額	52.32円	76.62円

(注) 1. 株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度2,857,580株、当連結会計年度1,851,490株)。

また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度2,869,201株、当連結会計年度2,168,360株)。

2. 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 「1株当たり当期純利益金額」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	2,204,098	3,232,107
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	2,204,098	3,232,107
普通株式の期中平均株式数(株)	42,129,396	42,185,652

(重要な後発事象)

該当事項はありません。